

## 事業報告書

- 検定職種 : 機械保全職種
- 事業年度 : 2021年度 (2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木))

事項	計画	状況
1 試験科目の認定等 (1) 指定試験機関技能検定委員の選任計画等 【能開則第63条の9第3項及び第4項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員は、必要に応じ交代又は追加で選任する。試験問題作成担当の検定委員は、30名～35名程度とする。</li> <li>・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員は、再任および交代・追加により、250名～300名程度を選任する(任期は1年)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験問題作成担当(査読担当含む)の検定委員数 計34名(首席1名、機械系保全作業6名、電気系保全作業6名、設備診断作業6名、特級6名、基礎級5名、査読担当4名)</li> <li>・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員数 第1回試験(3級) : 117名、 第2回試験(1級・2級・3級) : 211名</li> </ul>
(2) 試験問題等の作成等の計画 【能開則第63条の9第1項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験範囲・試験方法を検討する部会を設け、産業界のニーズにあった内容の検討を開始する。委員は必要に応じて6名～8名程度を選任する。</li> <li>・ 試験問題作成委員会を、特級、機械系保全作業(基礎級含む)、電気系保全作業、設備診断作業の4つの部会に分け、各部会の担当委員で検討作成するほか部会を年4～6回開催し、技術的検証と確認を行う。</li> <li>・ 試験問題作成事務局での根拠調査、チェック強化のほか、引き続き専門校正業者での査読(技術事項以外)も実施するとともに、正解表作成時、公開時の確認体制を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験範囲・試験方法を検討する部会は新型コロナ感染防止の観点から実施を行わなかった。</li> <li>・ 試験問題作成委員会を下記のとおり開催した。 ※オンライン会議含む 特級 : 1回 機械系保全作業 : 2回 電気系保全作業 : 2回 設備診断作業 : 1回</li> <li>・ 通常作成工程に加えて下記チェックを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 査読専門の問題作成委員のチェックを実施</li> <li>➢ 校正ソフト利用と併せて専門校正業者での校正校閲</li> <li>➢ スケジュールを早め事務局での確認・編集・校正を行った</li> </ul> </li> <li>・ ミス再発防止策の徹底を図り確認作業を行った。</li> </ul>
(3) 試験問題の水準調整会議の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナ感染症拡大防止の観点から、映像視聴による説明内容を確</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水準調整会議を下記のとおり実施した。</li> </ul>

事 項	計 画	状 況
開催計画 【能開則第63条の9第1項に関する事項について】	認する方式とし、下記の日程で水準調整会議を実施する。検定委員は映像で説明内容を確認し、質問等はメール等で対応を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回（3級）：5月下旬～6月初旬</li> <li>・ 第2回（1級・2級・3級）：11月下旬～12月初旬</li> <li>・ ※映像視聴ができない検定委員がいる場合は、感染防止に配慮したうえで少人数による会議を実施する等して、説明を行う。</li> </ul>	第1回（3級）、第2回（1級・2級・3級）ともにDVD配布による映像視聴方式で水準調整会議を実施した。 ※映像視聴が出来ない検定委員はいなかったため集合会議は行わなかった
2 技能検定試験の実施等 (1) 公示・公表 ① 実施公示 【技能検定実施計画において規定される指定試験機関が行う実施公示】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特級・1級・2級・3級について、ホームページ上において、2021年3月1日（月）から2022年2月28日（月）まで公示する。</li> <li>・ 第1回（3級）の詳細は、ホームページ上において2021年3月1日（月）から2022年2月28日（月）まで、第2回（特級・1級・2級・3級）の詳細は、2021年8月2日（月）から2022年2月28日（月）まで掲載する。</li> <li>・ 受検案内は、過去3年間に受検者がいた企業、工業高校、関係団体、会員企業等に配布し、周知する。また、ホームページからダウンロードできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公示は下記のとおり実施した。 2021年3月1日（月）から2022年2月28日（月）までホームページにて公示内容を掲載した。併せて試験要項、試験概要、受検申請で詳細の案内を掲載した。</li> <li>・ 受検案内の配布 過去3年間の申請団体に以下のスケジュールで配布し周知を行った。 3級：2021年3月1日（月） 特級・1級・2級・3級：2021年8月2日（月）</li> </ul>

事 項	計 画	状 況
<p>② 実技試験問題の概要、合否基準並びに試験問題及びその正答の公表</p>	<p>① 実技試験（製作等作業試験）の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題概要は、ホームページにおいて、試験実施の3週間前を目途に掲載して公表するほか、受検票とともに通知する</li> </ul> <p>② 合否基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにおいて掲載して公表する。</li> </ul> <p>③ 試験問題及びその正解の公表</p> <p>ホームページにおいて、すべての試験日程が終了した日から2週間以内に、問題及び正解を公開する。ただし、機械系保全作業、設備診断作業の判定材料（資料、写真、図版等）及び電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題、機材、正解は公開しない。</p>	<p>① 実技試験の概要【電気系保全作業（製作等作業試験）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気系保全作業（製作等作業試験）は以下の通り公表した 第1回・第2回（3級）：2021年5月12日（水） 第2回（1級・2級）：2021年11月5日（金）</li> <li>受検票は以下の通り発送した 第1回（3級）： 個人申請 2021年5月21日（金） 団体申請 2021年5月28日（金） 第2回（特級・1級・2級・3級）： 個人申請 2021年11月12日（金） 団体申請 2021年11月19日（金）</li> </ul> <p>② 合否基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営するホームページにおいて常時公表している</li> </ul> <p>③ 試験問題およびその正答は以下の通り公表した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回（3級）：2021年6月25日（金）</li> <li>特級・1級・3級：ホームページにおいて、2022年1月21日（金）【※】</li> <li>2級：ホームページにおいて、2021年12月24日（金）【※】</li> </ul> <p>※製作等作業試験である電気系保全作業の正答、機材、および判断等試験である機械系保全作業、設備診断作業の判定材料(写真、図版等)は除く</p>
<p>(2) 受検申請書の受付 【法第47条第1項に関する事項】</p>	<p>① 第1回（3級）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット受付：2021年3月29日（月）10:00～4月16日（金）18:00</li> <li>郵送受付：2021年3月29日（月）～4月9日（金）消印有効</li> </ul> <p>② 第2回（特級・1級・2級・3級）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット受付：2021年8月30日（月）10:00～9月24日（金）18:00</li> </ul>	<p>① 第1回（3級）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット受付：2021年3月29日（月）10:00～4月16日（金）18:00</li> <li>郵送受付：2021年3月29日（月）～4月9日（金）消印有効</li> </ul> <p>② 第2回（特級・1級・2級・3級）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット受付：2021年8月30日（月）10:00～9月24日（</li> </ul>

事 項	計 画	状 況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3級 郵送受付：2021年8月30日（月）～9月10日（金）消印有効</li> <li>・ 特級・1級・2級 郵送受付：2021年8月30日（月）～9月17日（金）消印有効</li> </ul>	金） 18:00 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3級 郵送受付：2021年8月30日（月）～9月10日（金）消印有効</li> <li>・ 特級・1級・2級 郵送受付：2021年8月30日（月）～9月17日（金）消印有効</li> </ul>
(3) 受検票等の交付に係る計画 【法第47条第1項に関する事項】	申請事項が適正なものに対して、試験日の3週間前～2週間前に、受検票を受検者（または受検申請の取りまとめ者）宛に発送する。	受検票は以下の通り発送した 第1回（3級）： 個人申請 2021年5月21日（金） 団体申請 2021年5月28日（金） 第2回（特級・1級・2級・3級）： 個人申請 2021年11月12日（金） 団体申請 2021年11月19日（金）
(3) 実技試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙のとおり。	別紙1のとおり。
(4) 学科試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙のとおり。	別紙1のとおり。
(5) 試験の合否判定等の状況 【法第47条第1項に関する事項】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合否判定基準に基づき下記のとおり技能士合格と判定した</li> <li>特級：296人</li> <li>1級：2,971人</li> <li>2級：4,871人</li> <li>3級：6,134人</li> <li>基礎級：256人</li> <li>随時3級：247人</li> <li>随時2級：0人</li> </ul>

事 項	計 画	状 況
(6) 合格者の発表等 【法第47条第1項に関する事項】	<p>① 第1回 (3級) 2021年8月20日 (金) に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。</p> <p>② 第2回 (特級・1級・2級・3級) 2022年3月25日 (金) に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。</p>	<p>・ 厚生労働省による合否決定に基づき下記のとおりホームページへ掲載し、全受検者へ結果通知の発送を行った。</p> <p>① 第1回 (3級) : 2021年8月20日 (金)</p> <p>② 第2回 (特級・1級・2級・3級) : 2022年3月25日 (金)</p>
(7)合格証書の交付等の状況	-	<p>・ 技能士合格者に対して、下記のとおり合格証書を交付した。</p> <p>※ ( ) 内は合格証書の再交付件数</p> <p>特級 : 296 (2) 人 1級 : 2,971 (39) 人 2級 : 4,871 (75) 人 3級 : 6,134 (9) 人 基礎級 : 256 (0) 人 随時3級 : 247 (1) 人 随時2級 : 0 (0) 人</p>
3 その他 (1) 秘密保持義務、業務制限等の周知	<p>秘密保持義務、秘密事項の範囲、秘密資料の適切な取扱い及び業務制限について、試験業務に関わる役職員に対しては2021年4月に部内研修で周知し、技能検定委員に対しては、選任時及び水準調整会議において周知徹底する。</p>	<p>・ 秘密保持義務を含む情報管理について、試験業務を担当する職員に対し2021年4月に周知徹底した。</p> <p>・ 技能検定委員に対しては、秘密保持および業務制限について選任時に説明するほか、水準調整会議において説明し周知徹底した。</p>
(2) 試験業務に関する内部監査の実施	<p>試験業務に関与していない役職員を監査担当者に任命し、2022年2月～3月の間に、試験業務を対象に、内部監査を実施する。</p>	<p>・ 試験業務に関与していない調査研究開発部長および普及推進部マネージャーの職員の2名を監査担当者とし、2022年3月30日 (水) に内部監査を実施し、2022年5月13日 (金) の理事会にて報告を行った。</p>
(3) 「感染防止策の実施計画」に	<p>新型コロナウイルス感染症については、「技能検定の実施に関する新型コロナウ</p>	<p>・ 「技能検定の実施に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」</p>

事 項	計 画	状 況
<p>ついて</p>	<p>ウイルス感染拡大防止ガイドライン」に基づき、感染防止対策の一層の取組強化を図り、徹底した感染防止対策の下での安全な技能検定の実施を図る。</p>	<p>に基づき、受検者向けにホームページ及び受検案内、受検票での周知を行なうとともに、セルフチェックシートの提出を求めた。また、検定委員、運営スタッフ向けには、マニュアルとしてガイドライン内容を盛り込み、セルフチェックシートの提出をおこなった。試験後には、内部監査で対策・実施内容についても監査が行われた。</p>

別紙1 試験日・実施地区

- 試験年度 : 2021年度 (2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木))

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
随時2級 随時3級 基礎級	学科	2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木)において当会が指定する日	各都道府県において、当会が指定する会場	随時2級、随時3級、基礎級は下記のとおり試験を実施した。 随時2級：2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木) 随時3級：2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木) 基礎級：2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木) 当会が指定する場所(主として、監理団体または受検者が所属する企業内または当会が確保した会場や当会保有の研修室)にて実施した。
	実技			
3級	学科	第1回：2021年6月20日(日) 第2回：2022年1月16日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各都道府県に1会場を目安に、設置する。</li> <li>具体的な会場設置場所は、県庁所在地または地理的・交通の便を考慮し、かつ過去3年間の実績及び2020年度の受検希望者数をもとに決める。実績や希望者が少ない地域でも、他の試験会場までの距離や交通手段を考慮して試験会場を</li> </ul>	3級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 第1回：2021年6月20日(日) 第2回：2022年1月16日(日) ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	第1回 2021年6月12日(土)～7月18日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施  第2回 2021年12月4日(土)～2022年2月27日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施。		3級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 第1回 機械系保全作業：2021年6月20日(日) 電気系保全作業：2021年6月12日(土)～7月18日(日)の間で、当会が指定する日に試験を実施した。 第2回 機械系保全作業：2022年1月16日(日) 電気系保全作業：2021年12月4日(土)～2022年2月27日(日)の間で、当会が指定する日に試験を実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
特級	学科	2022年1月16日(日)	設置することがある。 ・企業・学校からの団体申込みの場合、当該企業・学校を会場とすることがある。	特級学科・実技試験は下記のとおり試験を実施した。 2022年1月16日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技			
1級	学科	2022年1月16日(日)	1級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 2022年1月16日(日)に実施した。 ②電気系保全作業 2021年12月4日(土)～2022年2月27日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施。 ※実施地区は別紙2のとおり	1級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2022年1月16日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	機械系保全作業、設備診断作業 2022年1月16日(日) 電気系保全作業 2021年12月4日(土)～2022年2月27日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施。		
2級	学科	2021年12月19日(日)	1級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 2021年12月19日(日)に実施した。 ②電気系保全作業 2021年12月4日(土)～2022年2月27日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施。	2級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 2021年12月19日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	機械系保全作業、設備診断作業 2021年12月19日(日) 電気系保全作業 2021年12月4日(土)～2022年2月27日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施。		

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
				※実施地区は別紙2のとおり

別紙2 <2021年度 会場設置地区(都市)>

特級 : 28 都市 28 会場

札幌、仙台、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、福井、松本、岐阜、浜松、名古屋、津、大津、大阪、神戸、奈良、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、那覇

1 級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業)、実技 (機械系保全作業・設備診断作業) 55 都市 57 会場

札幌、青森、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区内、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

2 級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業)、実技 (機械系保全作業・設備診断作業) 59 都市 66 会場

札幌、青森、八戸、北上、仙台、秋田、山形、郡山、つくば、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区内、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、豊橋、岡崎、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

3 級 第 1 回 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業)、実技 (機械系保全作業) 60 都市 61 会場

札幌、八戸、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、和歌山、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、高知、福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇、沖縄

3 級 第 2 回 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業)、実技 (機械系保全作業) 61 都市 61 会場

札幌、青森、八戸、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、長野、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、奈良、和歌山、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、松山、高知、福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇、沖縄

3級 第1回：実技（電気系保全作業） 38都市 41会場

札幌、盛岡、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、多摩地区、横浜、新潟、富山、金沢、福井、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、大分、宮崎、那覇、沖縄

1級・2級・3級 第2回：実技（電気系保全作業） 56都市 168会場

札幌、帯広、釧路、青森、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、多摩地区、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、名古屋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、徳島、高松、松山、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇、沖縄

以上

**機械保全職種 技能検定 (機械保全技能検定) 収支決算**

2021年度 2021年4月1日～2022年3月31日まで

事業の名称	機械保全技能検定
事業の内容	機械保全技能検定の実施
事業実施法人の名称	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

単位：円

科 目		予算額	当年度	増減
I 事業収入	(1)受検手数料	453,053,000	421,418,686	▲ 31,634,314
	(2)その他収入	133,380,000	131,472,700	▲ 1,907,300
<b>収入合計(A)</b>		<b>586,433,000</b>	<b>552,891,386</b>	<b>▲ 33,541,614</b>
II 費用	(1)事業費	491,231,000	447,059,341	▲ 44,171,659
	諸謝金	31,400,000	27,705,092	▲ 3,694,908
	会場費	74,200,000	80,322,937	6,122,937
	旅費交通費	27,100,000	22,463,947	▲ 4,636,053
	消耗品費	12,700,000	8,387,311	▲ 4,312,689
	印刷費	7,400,000	14,281,430	6,881,430
	通信運搬費	59,400,000	55,850,917	▲ 3,549,083
	業務委託費	240,200,000	227,388,853	▲ 12,811,147
	減価償却費	331,000	330,621	▲ 379
	その他	38,500,000	10,328,233	▲ 28,171,767
	(2)管理費	126,532,000	136,380,122	9,848,122
職員人件費	82,535,000	86,862,309	4,327,309	
管理物件費	43,997,000	49,517,813	5,520,813	
<b>費用合計(B)</b>		<b>617,763,000</b>	<b>583,439,463</b>	<b>▲ 34,323,537</b>
<b>当期収支(A-B)</b>		<b>▲ 31,330,000</b>	<b>▲ 30,548,077</b>	<b>781,923</b>

前期からの累計繰越収支差額	▲ 103,892,213
当期収支差額	▲ 30,548,077
次期への繰越収支差額	▲ 134,440,290